

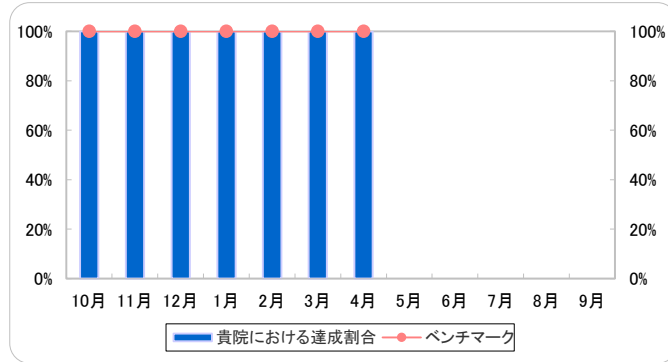
かかりつけ医向け情報提供シート(施設データ)

かかりつけ医ID : J01S00
 施設名 : テスト医院

最終調査日 : 2010/04/30
 作成日 : 2010/05/28

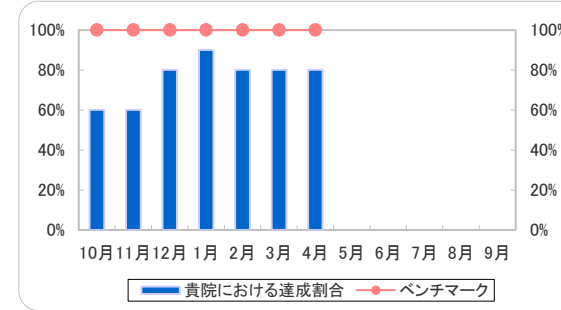
I 全ての糖尿病患者は、少なくとも3ヶ月に1回は医師の診察を受けるべきである。

過去3ヶ月以内に受診している被験者の割合

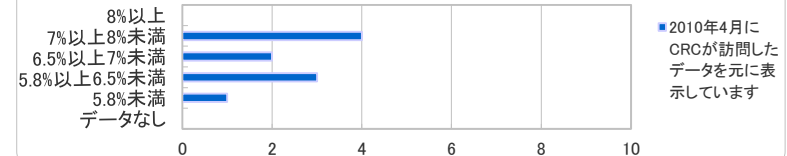


II 全ての糖尿病患者に対して、少なくとも3ヶ月に1回はHbA1cの検査を行うべきである。

過去3ヶ月以内にHbA1cを測定した被験者の割合

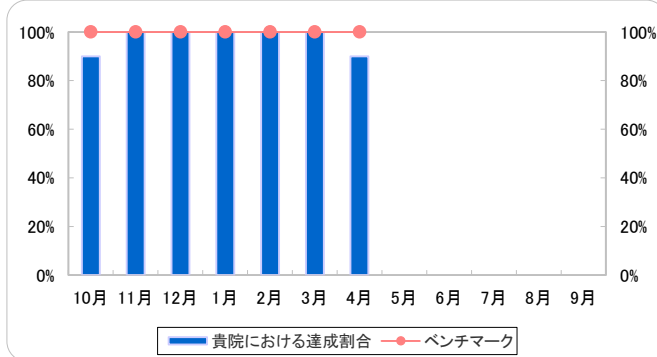


直近のHbA1cの分布



III 全ての糖尿病患者に対して、少なくとも12ヶ月に1回は総コレステロールなど血清脂質の検査を行うべきである。

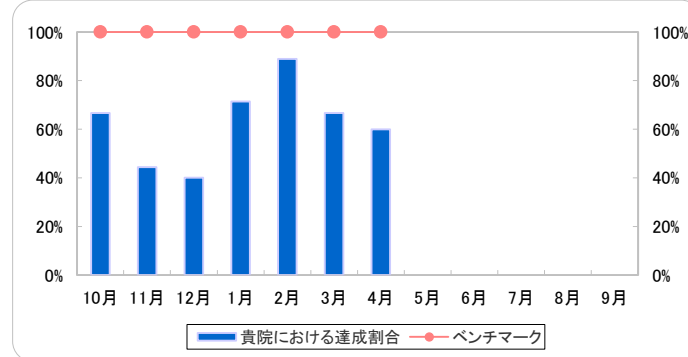
過去12ヶ月以内にTCまたはLDL-Cを測定した被験者の割合



治療の目安として3ヶ月に1回はHbA1cの測定が推奨されます。

IV 全ての糖尿病患者に対して、受診月毎に血圧の測定を行うべきである。

当月に血圧を測定された被験者の割合



動脈硬化性疾患危険因子の1つとして少なくとも12ヶ月に1回は総コレステロールなど血清脂質の測定が推奨されます。

可能であれば受診毎の血圧測定が推奨されます。

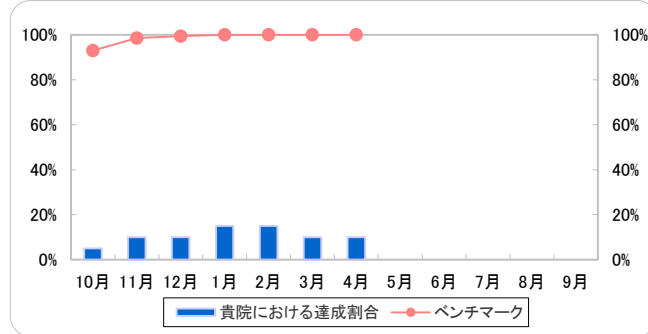
かかりつけ医向け情報提供シート(施設データ)

かかりつけ医ID : J01S00
施設名 : テスト医院

最終調査日 : 2010/04/30
作成日 : 2010/05/28

V 全ての糖尿病患者に対して、少なくとも12ヶ月に1回は眼底検査を行うか、眼科への紹介を行うべきである。

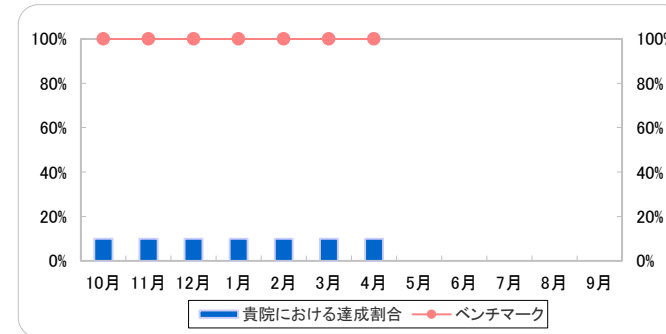
過去12ヶ月以内に、少なくとも1回以上、診療録に、眼科受診に関する何らかの記載があった被験者の割合



12ヶ月に1回は眼底検査を行うか、眼科への紹介が推奨されます。

VI 全ての糖尿病患者に対して、少なくとも12ヶ月に1回は足の診察を行うべきである。

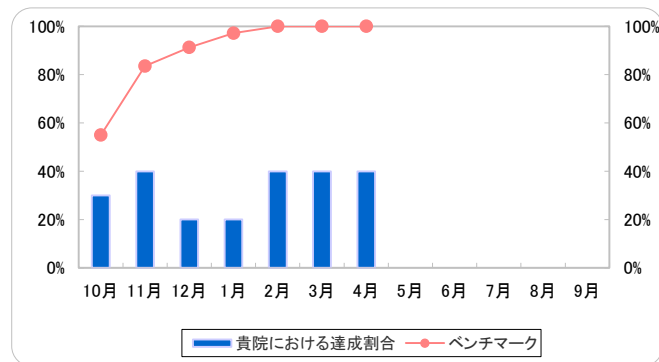
過去12ヶ月以内に、少なくとも1回以上、診療録に、以下のいずれかについて、足の診察の所見があった被験者の割合



12ヶ月に1回は足の診察を行うことが推奨されます。

VII 顕性蛋白尿がない糖尿病患者に対して、少なくとも6ヶ月に1回は尿中アルブミンの検査を行うべきである。

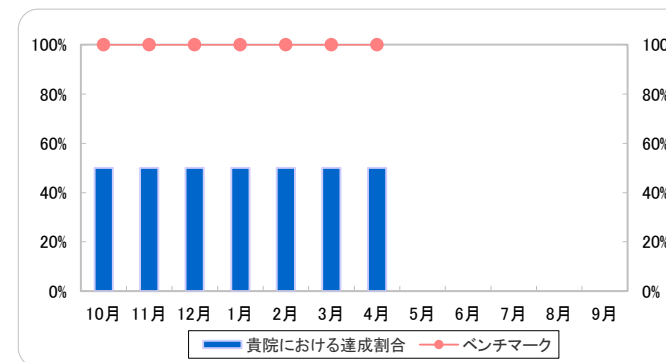
(顕性蛋白尿が無い場合のみ) 過去6ヶ月に少なくとも1回以上、



試験紙法で尿蛋白(-)~(+)の場合、6ヶ月に1回は尿中アルブミンの検査を行うことが推奨されます。

VIII 糖尿病患者が喫煙している場合、少なくとも12ヶ月に1度は禁煙をすすめられるべきである。

(喫煙している場合のみ) 過去12ヶ月に少なくとも1回以上、喫煙についての状態が評価され、診療録に記載されている被験者の割合



喫煙中の方には1年に1度は禁煙をお勧め下さい。

これらのデータは、CRCが診療記録より抽出したデータと5月7日時点での【診療達成目標遵守状況調査票】に基づいております。